

第4回バスツアーのお知らせ！住まいの耐震博覧会（東京ビッグサイト）

ホテル ランチバイキング&東京ビッグサイト 3月29日（土）

3月29日（土）東京ビッグサイトで開催されます 弊社取引先のナイス様のご協力でバスツアーを計画しました。住まいづくりに関する総合的な情報を発信する展示イベントです。会場内の各ブースでは、最新の家づくりを色々な分野で紹介し、分かりやすく説明、体験できます。また、昼食は都内のホテルにてランチバイキングを予定しています。メニューの充実した人気のランチブッフェです。

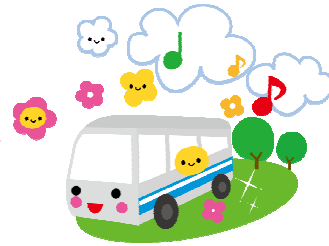
募集人数は 先着 30名です。参加費は無料です。

参加ご希望の方は、3月22日（土）までにナガイまでご連絡ください。

多数の方のご参加をお待ちしております。


島田市O様邸 完成しました！

2月15、16日には完成見学会を開催しました。



完成見学会の様子



ダイニング



地窓のある和室



リビングの吹抜け



2階洋室

2日間とも、お天気にも恵まれ、多数のお客様にご来場いただきました。板倉造りについてテレビ番組で放送されたのをご覧になって「板倉の家」に興味を持たれた方が多かったように感じます。お越しくださった皆さま誠にありがとうございました。

（株）ナガイ 島田市牛尾510-2 TEL (0547) 45-3501

木くぼり

木がつくる住環境 音編 ①

適度な吸音力を持つ木材

室内の音源から発生する空気伝搬音は、内装材の吸音力で低減できます。木材や畳は室内の音を適度に吸収しますが、吸音力がほとんどないコンクリートに囲まれていると、音がいつまでも室内に残ることになります。

このように、室内の吸音力が小さいと、反射音が大きく、音がよく響き耳障りに感じられます。反対に吸音力が大きすぎても、音が聞きずらく不快感を覚えます。木質材料は低音、中音、高音をバランスよく吸音します。

遮音性を高める

外部や隣室からの空気伝搬音は、主に壁で遮音します。遮音性能は壁材の面密度、つまり単位面積当たりの重さに比例します。木材は軽くて強いことが特徴なので、遮音性は高くありません。しかし、木材も使い方によっては、遮音性を高くすることができます。壁材にはできるだけ厚く、比重の大きい材を使い、工夫としては空気層を持つ多重構造の工法を採用し、窓や扉の隙間を減らすことによって遮音性を高めることが可能です。

聴こえないが感じる超高周波音

人間の健全な耳に聴こえる音の範囲は限られています。この範囲より低い超低周波音と高い超高周波音は、音としては感じられませんが、肌や体で感じられます。

緑が多く自然性の高い地域では、超高周波音が豊富に存在していますが、高密度都市空間や密閉度の高い建物内では超高周波音が欠けています。ところが、木造住宅は快適に感じる超高周波音を通しやすいといわれます。このようなことから、住宅の遮音性が高ければ高いほど居住性が良いという考え方は、近い将来再検討される必要があるようです。

